※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校日本史Ａ改訂版人・くらし・未来（第一学習社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・今までに学習した内容と新たに学習する内容とを結びつけて考える。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持って取り組む。
・歴史的思考をもとに、様々な事象、資料を普遍化して分析し、自分の生活をより良くしていく。

２　学習の到達目標

・一般教養としての歴史的知識を身に付け、自らの生活に活かす。
・現在の社会の中に、日本で伝統的に培われてきた習慣や文化を見つけ、自分なりに課題を設定し、追究する姿勢を身に付ける。
・日本の歴史を世界の歴史や地理的条件と関連付けながら理解し、日本国民として主体的に考えられる自覚と資質を養い、国際社会で生かせる能力を形成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とするわが国の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史的諸課題をわが国の歴史の観点から考察し、近現代の日本の動向が国際社会にいかに影響を与え、現在の国際社会の形成にどのように関与したのか、現在の複雑化する国際情勢を公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本及び世界の歴史に関する諸資料や統計を収集し、有用な情報を選択して、自分なりに読み取ったり図表などにまとめたりしている。	わが国の近現代の歴史についての基本的な事柄を世界の歴史の一部と捉え、地理的条件、政治体制などと関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	開国と明治維新	・ペリー来航と開国 ・開国の影響と尊王攘夷 ・討幕運動の展開 ・幕末の社会と文化 ・大政奉還と王政復古 ・由民権運動と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化 ・大日本帝国憲法の制定と初期議会	○ ○

※令和３年度以前入学生用

2学期	第一次世界大戦と日本	・護憲運動と大正デモクラシー ・第一次世界大戦と日本 ・大戦景気と米騒動 ・大戦後の民族運動高まりと国際協調 ・政党政治の展開 ・社会運動の高まりと大衆文化の形成 ・大正・昭和初期の学問・芸術	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:わが国の内閣がどのように変化したかを、大正時代のわが国を取り巻く世界の変貌に関連づけて意欲的に追究しようとし、関心を持っている。 b:第一次世界大戦による内政、外交的な影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:大正時代のわが国の生活に関する諸資料、著作物を収集し、当時形成された世論の多様性・変化を読み取るｋとができている。 d:20 世紀のわが国に関する基本的な事柄や、世界大戦が総力戦としての性格を帯びてきたこと、それにともなって世界各国の体制が変化したことを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	第二次世界大戦と日本	・金解禁・昭和恐慌 ・協調外交から強硬外交へ ・満州事変と軍部の台頭 ・三国防共協定と日中戦争 ・統制の強化と文化 ・戦時体制の確立 ・第二次世界大戦と太平洋戦争 ・戦局の推移 ・大東亜共栄圏と戦時下の国民生活 ・連合国の動向と日本の敗戦	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界恐慌にともなう混乱について、現代の景気動向に関連させて各国の経済政策に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:明治の産業革命が招いた日本経済の構造の不備を理解した上で、世界恐慌の原因や問題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界恐慌によって受けた打撃および効果に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界恐慌によって変化する世界とわが国の政策方針とを関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート ワークシート

※令和３年度以前入学生用

3学期	日本の再出発	・占領と植民地の解放 ・日本の民主化と日本国憲法の制定 ・占領下の経済と国民生活	 ○ ○	○	○ ○ ○	 ○ ○	a:太平洋戦争の原因や結果と、戦後に制定された憲法の意義、特に明治憲法との性格の違いに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:戦後復興の具体的な様子や、敗戦を期に変化した社会構造と平和を希求する憲法の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦時中、戦後の国家体制などに関する諸資料を収集・比較し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:敗戦後の GHQ 主導の改革に関する基本的な事柄や、世論の活発化についての基本的な事柄を、国民生活の変化と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート

※令和３年度以前入学生用

3学期	独立後の政治と経済の発展	・冷戦と占領政策の転換 ・朝鮮戦争と経済復興 ・講和と安保条約 ・高度経済成長期の日本と世界 ・安定成長から経済大国へ ・石油危機後の国内外 ・55 年体制の崩壊 ・21世紀の世界と日本の課題と展望	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:急速に復興を進めていく日本とそれを取り巻く諸地域世界について、戦後新たに出現し、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:複雑化する日本社会や国際情勢を、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:急速に復興を進めていく日本と世界の各国の政治体制、経済状況問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:わが国の発展にともなって出現した諸課題や、世界で出現した問題についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。